

# 令和二年度施設長研修会

期 日 令和三年十二月十五日(水)  
会 場 清水マリナート 大ホール  
参加者 二四四名

新型コロナウイルス感染予防を行いながら、久しぶりに多くの方が集まり研修が行われました。

開講式の後、十時四十分より十二時十分

講義①テーマ「清潔保育をやめないか？」

～Withコロナ時代の保育者へ～

講 師 小児科医 山田 真 氏

先生は、COVID-19は高齢者、基礎疾患のある方にとっては特に注意が必要なウイルス感染症であるが、日本における小児の発症の頻度は成人に比べ極めて低いことなどから、区内の医療機関と協力して保健所による積極的疫学調査で濃厚接触者と特定された職員及び園児の調査を行い、十分な感染予防を行っている施設では、園児がマスクを通常していないにもかかわらず保育施設での施設内感染のリスクは極めて低いと考えられる。等のお話をして下さいました。

昼食の後、十三時十分より十四時十分

講義②テーマ「保育情勢報告」

講 師 静岡県保育連合会会長 土山雅之 氏



- 1 保育行政の動向Ⅰとして予算関係(1)新型コロナウイルス対応(2)保育士処遇改善(3)今後の予算の見通し
- 2 保育行政の動向Ⅱとして制度関係(1)子ども庁の創設(2)連携法人について(3)地域における保育所・保育士の在り方に関する検討会の状況
- 3 人口減少地域における保育に関する課題として(1)出生人数減少の現実(2)課題と視点

以上のテーマでお話を頂きました。

休憩後、十四時二十分より十五時五十分

- 講義③テーマ「保育の質を高める働き方改革～現場で実践していくために必要なこと～」
- 講 師 社会保険労務士法人 ワークイノベーション ショーン 代表 菊地加奈子 氏
- 1 保育士が仕事への誇りを持てる組織づくり(キャリアパスの重要性)
  - 2 保育の質を高めつつ効率化させるためにできること
  - 3 多様な働き方について考える
  - 4 労務管理のポイント

以上のテーマでお話を頂きました。



閉校式を行い十六時終了